



関東支部 第122回(2009年度)研究大会・総会のご案内

大会テーマ **インプットからアウトプットにつなげる指導**

会員・関係者各位

新学期がスタートしました。皆様お忙しいこととご推察申し上げます。

今年度1回目の支部研究大会は、私が勤務しています拓殖大学の協力により、東京・文京区茗荷谷の文京キャンパスにて開催いたします。以前八王子キャンパスで開催いたしましたが都心からはなれて遠いとお感じの方もいらっしゃるかと存じます。今回は交通の便利な場所にあります。池袋からも至便の地です。

今研究大会では関西支部から関西学院大学の門田先生をお迎えして前回は話題になったシャドーイングや音読の認知心理学的側面をお話いただこうと思います。授業をどうするのか考えていく場合の基本的な知識を作っていけるのではないかと思います。

またインプットからアウトプットにつなげる効果的な授業についてディスカッションをして明日からの授業を考えていきたいと思えます。

今回も特別に非会員の参加費を1,000円の資料代のみとしています。非会員の先生方もお誘いの上、ご来場いただければ幸いです。また大会後の懇親会も情報交換の場として利用していただければ幸いです。

2009年5月

外国語教育メディア学会

関東支部長 **見上 晃**

記

主 催 外国語教育メディア学会(LET)関東支部
期 日 2009年6月13日(土曜日)
会 場 拓殖大学 文京キャンパス
(〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14)
地下鉄丸ノ内線「茗荷谷駅」より徒歩3分
<http://www.takushoku-u.ac.jp/>

外国語教育メディア学会関東支部事務局

〒270-0161 千葉県流山市緒ヶ崎 1660
東洋学園大学 人文学部 下山幸成研究室内
電話 03-3811-3528
ファックス 03-3203-7973
E-mail kanto-office@j-let.org

日 程

9:15～ 受付

C 館 5 階

9:45～10:50

研究発表・実践報告

C 館 4 階

第 1 会場 C403

司会 入 江 潤 (明星学園小学校)

9:45～10:15 ① 「個人サーバを活用した学内 e-learning システムの構築」

鈴木 政 浩 (西武文理大学)

10:20～10:50 ② 「コンテンツ・シャドーイングと英語熟達度の関係」

山 内 豊 (東京国際大学)

峯 松 信 明 (東京大学)

羅 徳 安 (東京大学大学院生)

川 村 明 美 (東京国際大学)

第 2 会場 C404

司会 香 取 久 子 (東京電機大学)

9:45～10:15 ① 「チャンクごとの読解状況を精密に記録する装置の開発と利用研究」

田 淵 龍 二 (ミント音声教育研究所)

10:20～10:50 ② 「短期大学での TOEIC 指導におけるオンライン援用学習に関する研究」

南 紀 子 (創価女子短期大学)

松 井 義 明 (バージニア大学大学院生)

第 3 会場 C405

司会 若 有 保 彦 (秋田大学)

9:45～10:15 ① 「ベトナムにおけるメディアと英語教育の現状」

宇佐美 昇 三 (日本大学)

10:20～10:50 ② 「高齢英語学習者のための授業設計」

皆 川 晶 子 (元拓殖大学大学院生)

11:00~12:20

講演

C館 C501

「インプットからアウトプットにつなげる指導:シャドーイングと音読の効果」

インプットは第二言語習得に必要不可欠である。インプットされた情報が、適切に知覚、理解、記憶、内在化されてはじめて言語習得は可能となる。このようにインプットが重要であることは言うまでもないが、国際社会における日本人の役割を考えると、海外に向けて発信するアウトプットの能力をいかにつけさせるかが重要である。本講演では、このインプットとアウトプットをつなぐタスクとして、シャドーイング・音読トレーニングの効果を知心理学の観点から考えていく。

講師紹介 跡部 智 (慶應義塾普通部)
講師 門田 修平 (関西学院大学)

12:20~13:20

昼食・展示

<昼食> H館地下の学食は14:00まで営業しております。また、周辺ランチマップを配布いたしますのでこちらもご利用ください。

<展示> 賛助会員による展示をC館6階にて行っています。

13:20~13:50

総会

C館 C501

総司会 佐藤 明彦 (拓殖大学)
会場校挨拶 山田 政通 (拓殖大学外国語学部長)
LET 関東支部長挨拶 見上 晃 (拓殖大学)

14:00～17:15

パネルディスカッション

C 館 C501

「インプットからアウトプットにつなげる指導」

インプットした情報を内在化しアウトプットにつなげるには、音読、パラレル・リーディング、シャドーイングをはじめ、さまざまな指導方法があるが、その効果は学習者要因、特に発達段階により異なるであろう。そこで本セッションでは、高等教育、中等教育、初等教育の各機関で教鞭をとられている3名の先生に、教材選択や機器利用法、指導手順等をご紹介いただき、その実践例を基に効果的な指導法を考えていく。

司会	小 原	平	(東京慈恵会医科大学)
指定討論者	門 田	修 平	(関西学院大学)
パネリスト	田 中	深 雪	(大東文化大学)
	淡 路	佳 昌	(東京学芸大学附属世田谷中学校)
	久 埜	百 合	(暁星小学校・中部学院大学)

17:15～17:20

閉会の挨拶

C 館 C501

副支部長 湯 舟 英 一 (東洋大学)

17:30～19:00

懇 親 会

C 館 7階 ラウンジ

司会 生 田 祐 子 (文教大学)

申し込みは懇親会費 2,000 円を当日受付にて承ります。発表者との懇談や参加者同士の情報交換の場としてご利用いただきたく、ふるってご参加ください。

参加者へのお願いとご案内

1) 参加費について

<会 員>参加費は無料です。

2009 年度会費(7,000 円/学生 4,000 円)未納の方は受付で納入してください。

<団体会員>1 団体につき 1 名が無料で参加できます。2 人目からは 1,000 円をお支払いください。

<非 会 員>1,000 円(資料代) 学生も同額です。

2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。

3) 駐車場はございませんので車でのご来場はご遠慮ください。